

国語科（言語文化）・地理歴史科（歴史総合）学習指導案

指導者

- | | |
|-----------|---|
| 1 履修単位数 | 言語文化4単位・歴史総合2単位 |
| 2 実施日時 | 令和7年10月14日（火） 第5・6時限 |
| 3 学級 | HR（名） |
| 4 使用教科書 | 数研出版 言語文化 第一学習社 歴史総合 |
| 5 単元（題材）名 | 古典作品を通して、今と昔をつなぐ「人間観」について考えを深める
（『土佐日記』『門出』）
歴史の特質と資料 |

6 単元設定の理由

(1) 生徒観

生徒たちは一学期を終え、学校祭を経て、一段と仲を深めたようである。入学当初よりも積極的に関わり合い、グループ活動にも進んで取り組む姿が見られている。家庭学習の習慣も確立しつつあり、学級全体の学習意欲も高まっているようである。国語における課題としては、作品の主題や背景に思いを寄せ、多様な視点から作品を捉える力がやや乏しいことが挙げられる。また歴史総合では、歴史に関心を持ち、現代を生きる自分と関連付けて広い視野で物事を考えることが課題である。

作品を読み味わいながら歴史的な流れにも目を向け、学びに向かう力の向上を図りたい。

(2) 教材観

《国語》『土佐日記』は、平安時代に紀貫之が、女性に仮託する形で書いた日記文学である。女性に仮託した理由としては、男性官人という身分を離れて私的感情を記すため、仮名文ならではの表現を用いるため、虚構化を行うためなどの諸説があるが、以後の女流日記文学や仮名文学の発展に大きな影響を与えた。本教材「門出」は、京から土佐へ出発する際の状況や心情などが描かれており、当時の様子がうかがえる、多様な視点から作品を読み解くために適した教材である。貫之の生きた時代の価値観を様々な角度から捉え、今と昔をつなぐ「人間観」について考えを深めさせたい。

《地歴》女性の社会進出には男性が「支援」と「制約」の両面で関与してきた。歴史を単なる過去の事象ととらえるのではなく、複数の資料から様々な関連性について、生徒の協働学習を通して多面的・多角的に考察させたい。

(3) 指導観

《国語》本教材では、貫之が女性仮託の形を取った理由について多様な視点から考えることにより、『土佐日記』のもつ文学的意義や、古典から現代へとつながる人間の姿に気づかせたい。また、他者と意見を共有することで生徒のものの見方や感じ方を広げ、より多様で深い読みへとつなげたい。

《地歴》生徒の協働を重視し、他者の意見を知ることで自分にはない視点に気づき、グループで意見をまとめ、表現し、全体で共有することで、意欲的に学ぼうとする態度を養う。

7 単元の目標

- (1) 《国語》 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 [知識及び技能] (2)ウ
《地歴》 歴史に関する記述がさまざまな資料に基づいていることについて理解する。 (知識)
- (2) 《国語》 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)オ
《地歴》 資料から読みとった情報の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (思考)
- (3) 《国語》 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 [学びに向かう力、人間性等]
《地歴》 資料の種類として、文献資料以外にはどのようなものがあるか知ろうとする態度を養う。 (態度)

8 本単元における言語活動

作品の内容や形式について、文学史を俯瞰して考察し、他者と共有する活動。

9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>《国語》古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ)</p> <p>《地歴》歴史に関する記述がさまざまな資料に基づいていることについて、理解している。</p>	<p>《国語》「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>(B(1)オ)</p> <p>《地歴》資料から読みとった情報の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p>	<p>《国語》これまでの学習を生かして、古典特有の表現に注意しながら作品世界の人々の姿について自分なりの意見をもつとともに、進んで考えたことを話し合うことで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。</p> <p>《地歴》資料の種類として、文献資料以外にはどのようなものがあるか、知ろうとしている。</p>

10 指導と評価の計画

《国語》（全2時間）

次	学習活動	評価規準・評価方法
第1次 (1時間) (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 音読をして物語の展開を概観し、歴史的事項を確認しながら現代語訳し読解する。 筆者が『土佐日記』で女性仮託の形を取った理由を考え、ペアで話し合い、全体で共有する。 	[思考・判断・表現] ① 「記述の確認」
第2次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習をし、筆者が日記に託した思いを理解する。 『土佐日記』が以後の文学の発展に大きな影響を与えたことや女性の社会進出の歴史を踏まえ、人間としての生き方について自分の考えをまとめる。 	[主体的に学習に取り組む態度] ①「記述の確認」

《地歴》（全2時間） 単元名 歴史の特質と資料 全2時間

第一次 資料から女性の社会進出に対する男性のどのような関わりが読みとれるだろうか。【●思、●態】

第二次 文献資料以外の資料はどのようなものがあるか【○知、●態】

単元の指導計画

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第一次 1時間 ★本時	【単元の基軸となる問い】女性の社会進出に男性はどう関わってきたのだろうか				
	【本時の問い】資料から女性の社会進出に対する男性のどのような関わりが読みとれるだろうか				
	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から、女性の社会進出に男性がどう関わってきたかを読み取り、ワークシートに書く。 グループで意見交換し、考察し、発表する。ワークシートに記入する。 		●		評価資料：ワークシート、発表 ●自分の意見をワークシートに書いている。 ●グループで考察したことを適切に説明している。
第二次 1時間	【本時の問い】文献資料以外の資料はどのようなものがあるか				
	<ul style="list-style-type: none"> 文献資料以外の資料にはどのようなものがあるか、ワークシートに書き出し、グループで意見交換する。 何から過去を知り、何に基づいて歴史が叙述されているか理解する。 	○		●	評価資料：ワークシート、発表 ●自分の意見をワークシートに書き、グループで積極的に意見交換できている。 ○資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。

11 本時の目標

《国語》紀貫之が『土佐日記』で女性仮託の形を取った理由を多様な視点から考え、書く活動を通して、筆者が日記に託した思いを読み取ることができる。
 《地歴》複数の資料を活用し、女性の社会進出に対する男性の関わりや、現代を生きる自分とのつながりを考察し、自分の言葉で表現することができる。

12 本時の展開 (1 / 2)

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 5分	【単元の基軸となる問い】女性の社会進出に男性はどう関わってきたのだろうか			
	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。「紀貫之が日記に託した思いを探ろう。」 当時の一般的な日記について学ぶ。 音読して物語の展開を概観する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで音読し、話の流れを確認させる。 		
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ①歴史的事項を確認しながら現代語訳し読解する。 ②女性仮託の形を取る利点を本文を踏まえて考え、書く。 ③筆者が『土佐日記』で女性仮託の形を取った理由を、本文を踏まえて考え、書く。 ④③で書いた内容についてペアで話し合い、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア同士で積極的に話し合うよう促す。 	[思考・判断・表現] 本文の内容を踏まえ、女性仮託の形を取った理由を書いている。	「記述の確認」① ・ワークシート
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を達成できたかを確認し、『土佐日記』の文学的価値についての教員の説明とまとめを聞く。 			

本時の展開 (2 / 2)

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 5分	【単元の基軸となる問い】女性の社会進出に男性はどう関わってきたのだろうか			
	【本時の問い】資料から女性の社会進出に対する男性のどのような関わりが読み取れるだろうか			
	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 			
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 近代の資料を見て、女性の社会進出に男性がどう関わってきたか考え、ワークシートに書く。 現代の資料を見て、近代との共通点や違いについて考え、ワークシートに書く。 グループで意見交換し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から考察した自分の意見を書かせる。 多角的視点から自分の言葉で表現するよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見をワークシートに書けている。【思考】 グループで考察したことを他者の意見も入れながらまとめて説明できている。【態度】 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 行動観察、発表
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を達成できたかを確認し、教員のまとめを聞く。 			

13 評価及び指導の例

<p>「十分満足できる」と判断される状況</p>	<p>《国語》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえて、紀貫之が女性仮託の形を取った理由を多様な視点から考えて書き、筆者が日記に託した思いを読み取ることができる。 ・紀貫之が女性仮託の形を取ったことで、後の女流文学作品に大きな影響を与えたことを理解することができる。 <p>《地歴》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀貫之が女性仮託の形を取ったことで、後の女流文学作品に大きな影響を与えたことから、近代の女性の社会進出に男性が関わっていたことを関連付け、現代の資料から自分とも関連付けて考察することができる。 ・複数の資料から多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現することができる。
<p>「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て</p>	<p>《国語》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントを、女性仮託の理由を探る手がかりにするよう指示する。 ・自らの立場を伏せたい場合とはどのような場合かを考えるよう促す。 <p>《地歴》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史は単なる過去の事象ではなく、様々なことがつながって関連して、現代を生きる自分ともつながっていることに気づけるよう助言を行う。 ・ワークシートの資料について、時代背景や着目点など適切な助言を行う。